



[kaminorippo.org](http://kaminorippo.org)

# 神の律法：付録3：Tzitzit（房・飾り紐・緒）

## 戒めを思い出すための戒め

### ツイツイトの指示

ツイツイトの戒めは、40年間の放浪中に神がモーセを通じて与えたもので、イスラエルの子ら—土着の者であれ異邦人であれ—に、衣服の端に房（tzitzits [תְּצִיִּצִית]、糸、房、タッセルを意味する）を作り、その房の中に青い糸を含むよう指示しています。

この物理的シンボルは神の従者を区別し、彼らのアイデンティティと神の戒めへの献身を常に思い出させる役割を果たします。

### 青い糸の意義

青い糸の包含—天と神聖性によく関連する色—は、このリマインダーの聖性と重要性を強調します。この戒めは「あなたの世代を通じて」従うべきものと宣言されており、特定の期間に限定されず、**継続的に守られる**ことを意図しています：

「主はモーセに言われた、『イスラエルの子らに言いなさい。来るべき世代を通じて、あなたがたは衣服の隅に房を作り、各房に青い糸をつけなさい。それらの房を見て、主のすべての命令を思い出し、それに従い、自分の心と目の欲望を追い求めて身を汚さないようにしなさい。そうすれば、あなたがたは私のすべての命令に従うことを思い出し、あなたがたの神に聖別されるでしょう。』」（民数記15:37-40）

### 神聖な道具としてのツイツイト

tzitzitは単なる装飾品ではありません。それは神の民を服従へと導く神聖な道具です。その目的は明確です：信者が自分の欲望に従うのを防ぎ、神の前での聖なる生活へと導くことです。

tzitzitsを着用することで、主の従者は彼の戒めへの献身を示し、彼との契約を毎日思い起こします。

## 男性のみか、皆のためか？

### ヘブライ語の用語

この戒めに関する最も一般的な質問の一つは、それが男性にのみ適用されるのか、それともすべての人に適用されるのかということです。答えはこの節で使われているヘブライ語の用語、*Bnei Yisrael* (בְּנֵי יִשְׂרָאֵל)、つまり「イスラエルの子ら」(男性形)にあります。

しかし、他の節では、神が共同体全体に指示を与える際に、*Kol-Kahal Yisrael* (כָּל-קְהָל יִשְׂרָאֵל)、つまり「イスラエルの集会」というフレーズが使われ、明らかに共同体全体を指しています(ヨシュア8:35、申命記31:11、歴代誌下34:30参照)。

また、一般の人々を指す場合に、*am* (עַם) という単語が使われることもあり、これは単に「民」を意味し、明らかに性別に関係ありません。例えば、十戒を与えた時：「モーセは民 (עַם) のもとに下り、彼らに告げた」(出エジプト記19:25)。

ツイットに関する戒めで使われた原初のヘブライ語の言葉の選択は、それが特にイスラエルの子ら(「男性」)に向けられていたことを示しています。

### 現代の女性の慣習

現代のユダヤ人女性やメシアンックな異邦人女性の中には、*tzitzits*と呼ぶものを衣服に飾ることを楽しむ人もいますが、この戒めが両性に適用されることを意図していたという証拠はありません。

### ツイットの着用方法

*tzitzits*は衣服に取り付けるべきです：前と後に2つずつ、入浴時を除きます(当然です)。睡眠中に着用するかどうかは任意と考える人もいます。睡眠中に着用しない人々は、*tzitzits*の目的が視覚的なりマインダーであるという論理に従い、眠っている時にはその効果がないと考えます。

*tzitzit*の発音は(*zitzit*)で、複数形は*tzitzitot*(*zitziôt*)または単に*tzitzits*です。

### 糸の色

## 特定の青の色調は要求されていない

この箇所では、糸の正確な青(または紫)の色調が指定されていないことに注意することが重要です。現代ユダヤ教では、正確な色調が不明であると主張し、青い糸を含めず、代わりに白い糸のみで *tzitzits* を作ることを選ぶ人も多いです。しかし、特定の色調が重要であれば、神は間違いなく明確にしていたでしょう。

戒めの本質は服従と神の戒めの絶え間ない思い起こしにあり、色の正確な色合いではありません。

3種類のTZITZITS (房, 飾り紐, 緒)。1つは戒め  
(民数記15:37-40)に従い、2つは従いません。

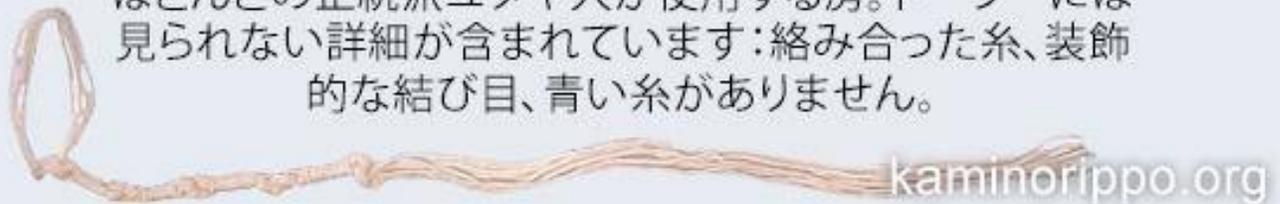
トーラーに指示された房。簡単に作れます。装飾的な結び目や絡み合った糸はなく、1本の青い糸が付いています。



一部の正統派ユダヤ人とメシアニック運動が使用する房。トーラーには見られない詳細が含まれています:絡み合った糸、装飾的な結び目、2本の青い糸。



ほとんどの正統派ユダヤ人が使用する房。トーラーには見られない詳細が含まれています:絡み合った糸、装飾的な結び目、青い糸がありません。



kaminorippo.org

## 青い糸の象徴性

青い糸がメシアを象徴すると信じる人もいますが、この解釈には聖書の裏付けがなく、その魅力的な性質にもかかわらずです。

他の糸の色に関する制限がないこと—1本が青でなければならないという要件を除いて—を利用して、多様な色で手の込んだtzitzitsを作る人もいます。これは、神の戒めに対して建設的でない軽率さを示すため、お勧めできません。

## 色の歴史的背景

聖書の時代、糸を染めることは高価だったため、オリジナルのtzitzitsはほぼ確実に羊、ヤギ、ラクダの自然なウールの色で作られ、白からベージュの範囲だった可能性が高いです。私たちはこれらの自然な色調を守ることを推奨します。

## 糸の本数

### 糸に関する聖書の指示

聖書は各tzitzitが何本の糸を持つべきかを指定していません。唯一の要件は、糸の1本が青でなければならないことです。

現代ユダヤ教では、tzitzitsは通常4本の糸を折り返して合計8本の糸にし、結び目も必須とされています。しかし、8本の糸と結び目を使用するこの慣習は、ラビの伝統であり、聖書の根拠はありません。

### 提案される糸の本数: 5本または10本

我々の目的のために、各tzitzitに5本または10本の糸を使用することを提案します。この数は、tzitzitsの目的が神の戒めを思い起こさせることであるならば、糸の本数が**十戒**に合わせるのが適切であるため選ばれました。

神の律法には確かに10を超える戒めがありますが、出エジプト記20の十戒の二つの石板は長い間、神の律法全体の象徴と見なされてきました。

### 糸の本数の象徴性

この場合:

- 10本の糸は各tzitzitにおける十戒を表すことができます。
- 5本の糸は石板ごとに5つの戒めを象徴する可能性があり、戒めが二つの石板の間でどのように分けられていたかは明確には知られていません。

多くの人が(証拠なく)一つの石板には神との関係に関する4つの戒めが、もう一つには他者との関係に関する6つの戒めが含まれていたと推測しています。

いずれにせよ、5本または10本の糸を選ぶのは単なる提案に過ぎず、神はモーセにこの詳細を与えませんでした。

神の戒めに従ってあなた自身の  
tzitzitを作りなさい

[PDFをダウンロード](#)



「それを見て思い出すために」

## 服従のための視覚的道具

青い糸を持つtzitzitは、神の僕たちが彼のすべての戒めを思い出し、実行するのを助ける視覚的道具として機能します。この節は、心や目の欲望に従わず、それが罪につながることを避けることの重要性を強調しています。代わりに、神の従者は彼の戒めに服従することに集中すべきです。

## 時代を超えた原則

この原則は時代を超えており、古代イスラエル人にも今日のキリスト教徒にも適用されます。彼らは神の戒めに忠実であり続け、世界の誘惑を避けるよう求められています。神が我々に何かを覚えておくよう指示する時、それは我々が忘れやすいことを彼が知っているからです。

## 罪に対する障壁

この「忘れる」ということは、単に戒めを思い出すことができただけでなく、それに基づいて行動しないことも意味します。人が罪を犯そうとしている時にtzitzitsを見下ろすと、戒めを与えた神がいることを思い出し、それらの戒めに服従しない場合には結果が伴うことを思い出します。

この意味で、tzitzitは罪に対する障壁として機能し、信者が自分の義務に気を配り、神への忠実さを堅固に保つのを助けます。

「私のすべての戒め」

## 完全な服従への呼びかけ

神のすべての戒めを守ることは、彼に対する聖さと忠実さを保つために不可欠です。衣服に付ける tzitzits は、神の僕たちに聖く服従的な生活を送る責任を思い起こさせる具体的なシンボルとして機能します。

神のために区別される—聖であること—は聖書全体を通じて中心的なテーマであり、この特定の戒めは、神の僕たちが服従の義務に気を配る方法を提供します。

## 「すべて」の戒めの意義

ヘブライ語の名詞 *kōl* (כָּל)、つまり「すべて」という言葉の使用に注目することが重要です。これは、世界中のほぼすべての教会で行われているように一部の戒めだけでなく、我々に与えられた戒めの「全体」を服従する必要性を強調しています。

神の戒めは、実際には我々が彼を喜ばせたいと望むなら忠実に従わなければならない指示です。そうすることで、我々はイエスのもとに送られ、彼の贖いの犠牲を通じて罪の赦しを受ける位置に置かれます。

## 救いへと導くプロセス

### 服従を通じて父を喜ばせる

イエスは、救いへの道が個人がその行動を通じて父を喜ばせることから始まることを明確にしました（詩篇18:22-24）。父がその人の心を調べ、服従への傾向を確認すると、聖霊はその人が彼のすべての聖なる戒めを守るよう導きます。

### イエスへと導く父の役割

その後、父はこの人をイエスに送り、あるいは「贈り物」とします：

「私を送った父がその人を引き寄せない限り、誰も私のところに来ることはできません。そして私は最後の日に彼らをよみがえらせます」（ヨハネ6:44）。

また：

「私を送った方の意志は、彼が私に与えたすべての者を私が失わず、最後の日に彼らをよみがえらせることです」（ヨハネ6:39）。

## 毎日のリマインダーとしてのツイット

視覚的かつ物理的なリマインダーであるtzitzitsは、このプロセスで重要な役割を果たし、神の僕たちが服従と聖さを堅固に保つための毎日の助けとなります。

彼のすべての戒めに対するこの継続的な意識は任意ではなく、神に捧げられ、彼の意志に一致した生活の基本的な側面です。

## イエスとツイツイト



イエス・キリストは、その生涯において、神の戒めを果たす重要性を示し、衣服にtzitzitsを着用することも含まれていました。元のギリシャ語の用語[kraspedon(κράσπεδον)、tzitzits、糸、タッセル、房を意味する]を読むと、血の病を患う女性が癒しを受けるために触ったのがこれであることが明らかです：

「その時、12年間出血を患っていた女性が後ろから近づき、彼の外套の房に触れた」(マタイ9:20)。同様に、マルコの福音書では、多くの人々がイエスのtzitzitsに触れようとし、それが神の強力な戒めを象徴し、祝福と癒しをもたらすことを認識していました：「彼が行くところ—村、町、田舎—どこでも、彼らは病人を市場に置き、彼の外套の房に触れることさえ許してほしいと懇願し、触れたすべての人が癒された」(マルコ6:56)。

## イエスの生涯におけるツイツイトの意義

これらの記述は、イエスがトラーで指示されたようにtzitzitsを着用する戒めを忠実に守っていたことを強調しています。tzitzitsは単なる装飾要素ではなく、イエスが体現し支持した神の戒めの深いシン

ボルでした。人々がtzitzitsを神の力とのつながりのポイントとして認識したことは、神の律法への服従が祝福と奇跡をもたらす役割を強調しています。

イエスがこの戒めに忠実であったことは、神の律法への完全な服従を示し、彼の従者に同様に行う強力な模範を提供します。ツイツイトだけでなく、父のすべての戒め、例えば安息日、割礼、髪と髭、そして禁じられた肉についてもです。